

奥武蔵らくらく交通の待機料金等の変更について(案)

1 現 状

「奥武蔵らくらく交通」は、平成 30 年 12 月から吾野地区・東吾野地区を範囲として、NPO 法人奥武蔵グリーンリゾートにより自家用有償旅客運送事業（交通空白地有償運送）として運行しており、地域住民の買い物、通院等の日常のおでかけの足として利用されている。また、地域住民だけでなく観光客による観光目的による利用もされており、利用者は増加している状況となっている。

2 課 題

観光利用の多くは、地区内の鉄道駅又は宿泊施設から地区内の観光地までの送迎であるが、隣接する名栗地区・原市場地区の観光地への送迎を求める声が多くなっている。具体的には、原市場地区の子ノ権現や竹寺、名栗地区の名栗湖周辺施設（ノーラ名栗、さわらびの湯）や鳥居観音など、隣接する山間地区に点在する観光スポットを巡り、吾野地区・東吾野地区内に戻る利用を求める声が多い。

このような観光利用をする場合、現行の待機時間等の設定（30 分未満無料、30 分～60 分 250 円）では、利用する観光客の滞在の目的を十分に達成することが難しい。また、待機料金の金額設定は事業の持続可能性の観点から課題となっている。

3 解決策

待機時間及び待機料金の設定を以下のとおり変更する。

現 行

市内全域	
・ 30 分未満	無料
・ 30 分～60 分	250 円
・ 60 分を超えての待機はしない	

変更案

市内（原市場地区・名栗地区を除く全域）	
・ 30 分未満	無料
・ 30 分～60 分	500 円
・ 60 分を超えての待機はしない	
原市場地区・名栗地区のみ	
・ 30 分未満	無料
・ 30 分以降 30 分ごと	500 円加算
・ 120 分を超えての待機はしない	

○変更点

- (1) 待機料金の標準設定を変更する。(250 円 → 500 円)
- (2) 原市場地区・名栗地区については待機時間及び待機料金を別に設定する。
(60 分まで → 120 分まで待機可能とする)

4 運用開始日

令和 5 年 4 月 1 日

5 実施イメージ

